

(別表第1の4)

事業所名グループホーム 杜の家

目標達成計画

作成日：平成 25年 12月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	No.11	家族さんへのアンケートの中で、事業所でのご本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、ご家族に報告がありますか？の質問に全くないとの回答があった	ご本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、ご家族に伝えることが出来る	ご本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、遠方や面会の機会の少ないご家族にも、電話等にてこまめに報告するようにしていく	3 か月	ご本人の暮らしぶりや健康状態は、電話等で連絡するように取り組みを始めており、金銭管理、職員の異動等については、その都度お伝えしていく
2	No.2	少しずつ利用者さんが地域の方や行事との交流が出来る様にはなっているが、今後は事業所としての地域でのあり方として、「認知症についてここに相談にきたら安心」というような役割を担えていない所がある	事業所としての地域でのあり方として、「認知症についてここに相談にきたら安心」というような役割を今後も担えるようにさらに取り組んでいく	今後も利用者さんが地域とつながりながら暮らせる様にさらに交流を図り、その際にも地域の方と認知症について悩みや相談がないかこちらから声をかけたり、運営推進会議などで近所の方の御要望を聞けるよう取り組んでいく	6 か月	地域の方や行事との交流を図り、地域の方に、こちらから声をかけるように心がけており、運営推進会議などで近所の方の御要望を聞けるよう取り組んでいる
3	No.35	災害対策では、避難訓練を毎月行い防災意識は高まってきているが、新人スタッフが増えたり、津波の避難訓練は取り組みを始めてまだ日が浅く事業所は海からも近いので、十分ではない	避難訓練を迅速に落ち着いて出来るように今後も取り組み、津波の避難訓練は回数を増やして車への移乗方法など全職員が身に付け、防災意識を高めていく	避難訓練で全職員が迅速に落ち着いて避難方法を身に付けるように今後も取り組み、津波の避難訓練は回数を増やして、車への移乗方法など全職員が身に付け、防災意識を高めていく	6 か月	避難訓練で特に新人スタッフに避難方法を身に付けるように取り組んでおり、車への移乗方法などは研修やドライブなどにて職員間で教えあっている
4	No.6	身体拘束をしない取り組みを社内研修などで内容を理解して実践しているが、声かけの際に「ちょっと待って」や「座っというよ」などの言葉が出る時がある	声かけの際にも言葉で身体拘束をになっているのではと意識を持ったり、職員同士注意をし合い利用者さんの気持ちを尊重する	声かけの際にも「ちょっと待って」や「座っというよ」などの言葉を使わないよう意識を持ったり、職員同士話し合ったり注意をしながら取り組み、利用者さんの気持ちを尊重して支援していく	3 か月	声かけの際にも「ちょっと待って」や「座っというよ」などの言葉が少しずつ減ってきており、利用者さんの表情も笑顔が増えてきた
5	No.48	洗濯を干したりたたんだり、食事の野菜の下ごしらえや盛り付けなどの役割や買い物に行ったりパンを買ったりと楽しみごとの支援は行っているが、利用者さんが満足しているとは言えず、今後も支援方法について考えていかなければいけない	一人、ひとりの生活歴を生かした役割や楽しみごとの支援が行えるように、考えていく	一人、ひとりの生活歴を生かした役割や楽しみごとの支援が行えるように、ご家族さんからさらに話を聞いたり利用者さんの思いを考えて一日一つでも実践出来るようにスタッフ同士話し合い支援していく	3 か月	おやつ作りで利用者さん数名と一緒にスーパーへ材料から買い物に行き、調理して作って食べた時は、いきいきと買い物したり楽しんでいました

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()